

・・・編集後記・・・

本年3月11日午後2時46分に発生した東日本大震災そして東京電力福島原子力発電所の二次？災害は、私達、日本人の一人一人に衝撃を与え様々な問題提起を突きつけた結果となりました。年代、立場、出身地によってそれは様々と思いますが、私は、「未曾有の」、「想定外の」の表現に当初より違和感がありました。日本列島は毎年のように自然災害が繰り返されております。その後の報道や研究者のコメントから、我が国の歴史で同規模の津波被害は全く初めての体験ではないことも判明しております。さらには、3月11日の震源地により近い東北電力女川原子力発電所には何の被害も発生していないどころか、地域住民の避難場所となったことも伝えられました。避難した住民の皆さんは会社から炊き出しを受け、福島原子力発電所の深刻な現実をテレビ報道で初めて知ったそうであります。

大震災発生の当初、私は、学生諸君にも自然の驚異には太刀打ちできない科学というものの無力さ

を伝えました。しかし、今はかなり前向きになっております。大震災の最悪のシナリオとして宮城県も大震災に加えて原子力発電所の二次？災害に巻き込まれたかもしれないが、阻止されたことに私は強く勇気付けられております。そこには原子力発電所のリスクに精通した科学者・技術者の自然災害について歴史を検証した熟慮があったこととなります。科学の世界にいる私達の生き方考え方にも、3月11日のこのような教訓を活かさなければならぬと考えている昨今であります。

最後に、東北・北関東地域の会員校の皆様には甚大な被害があったこと深くお見舞い申し上げます。この大震災で政治家や指導者の力量にとどまらず、家族の絆、人と人の絆、社会の絆も再認識させられました。

(平成23年9月1日 編集委員長 森山隆則)

一般社団法人 日本臨床検査学教育協議会
日本臨床検査学教育学会 学術部

編集委員会(平成22・23年度)

委員長：森山隆則(北海道大学)、副委員長：戸塚 実(東京医科歯科大学)、委員：市原清志(山口大学)、今井 正(香川県立保健医療大学)、江本正志(群馬大学)、奥村伸生(信州大学)、河原 栄(金沢大学)、森田耕司(杏林大学)

臨床検査学教育 第3巻2号

平成23年9月1日 発行

発行人：一般社団法人日本臨床検査学教育協議会
理事長 三村邦裕
〒164-0001 東京都中野区中野 3-43-16
(新渡戸文化短期大学 臨床検査学科内)
Tel. 03-3381-0121 FAX 03-3381-0348
<http://www.nitirinkyo.jp>

編集：日本臨床検査学教育学会 学術部 編集委員会

E mail : edit@jamte.org

制作：(株)宇宙堂八木書店

〒104-0004 東京都中央区入船 3-3-3

Tel. 03-3552-0931 FAX 03-3552-0770

広告取扱社：(株)東広社

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-3-8

Tel. 03-3409-8803